

平成20年10月1日

各 位

大石海運（有）及び美咲海送（有）の事業再生支援に関する

基本合意書締結のお知らせ

株式会社ドーガン・アドバイザーズ（本社：福岡市 代表取締役 森 大介）の100%子会社である株式会社ドーガン・インベストメンツ（本社：福岡市 代表取締役 森 大介 以下、「ドーガン・インベストメンツ」という。）は、平成20年9月30日に民事再生法の適用申請を行った大石海運有限会社及び美咲海送有限会社（ともに、本社：長崎県平戸市 代表取締役社長 増山 時光 以下、「OK LINE」という。）と、事業再生支援を目的として平成20年9月29日に基本合意書を締結したことを下記の通りお知らせいたします。

記

1. 基本合意書の概要

(1) 基本合意書締結に至った経緯

OK LINEは、長崎県佐世保と近隣の五島列島などの離島を結ぶ旅客船及び一般貨物船を運航しております。昭和45年の創業以来、OK LINEは離島の生活航路として操業を続け、離島生活者の利便性向上を図るため、これまでに新規航路の開設や増便、割安な運賃設定などにより離島の生活を支えて参りました。しかしながら、本業以外の投資による過剰債務に加え、近年の離島経済の縮小、燃料高騰によるコスト増加を受けて利益の確保が困難となり、借入金等の返済目処が立たなくなったため、平成20年9月30日長崎地方裁判所佐世保支局に民事再生法の適用を申請いたしました。

ドーガン・インベストメンツとしては、OK LINEの置かれた環境は依然厳しいものの、離島向けの旅客輸送及び一般貨物輸送の需要は底堅いものが見込めること、同社の持つ営業基盤及び人的資源は一定の評価ができること、また、離島生活航路の存続を支援することはドーガン・インベストメンツの企業理念である「九州地域経済への貢献」に合致するものと考え、事業再生支援の基本合意書の締結に至りました。

(2) 再生支援の目的

OK LINEの就航する路線は佐世保近隣の離島の生活航路であり、同社の操業が停止することによる便数減少は、直ちに離島の生活に不便をもたらす懸念があります。ドーガン・インベストメンツはOK LINEへの事業再生支援を図るとともに、本件を通じて生活航路減便による離島への経済的被害を回避することが、地域経済の維持に資するものと見込んでおります。

(3) 再生計画の方針

OK LINEは、資金繰りの悪化から民事再生法の適用申請に至ったものの、離島への生活航路であることから一定程度の需要は安定して見込まれることを鑑みるに、過剰債務の整理及び費用面の改善により同社の自主再生は十分可能であると考えられます。

ドーガン・インベストメンツは、当社が運営するファンドから、同社の自主再生の過程において、一時的な資金不足が生じた際の資金援助を行う用意があります。

現在は最終合意書締結に向けて協議中の段階ですが、最終合意書締結後は、上記の運転資金でのバックアップのほか、燃料仕入の見直しや船舶運行におけるコストの適正化といった再生支援を図り、早期の経営と財務の健全化を支援していきたいと考えております。

2. 会社の概要

大石海運有限会社

設 立 : 昭和45年2月
本店所在地 : 長崎県平戸市生月町御崎768番地の2
代 表 者 : 増山 時光 代表取締役社長
資 本 金 : 15百万円
事 業 内 容 : 沿海貨物海運業

美咲海送有限会社

設 立 : 昭和56年4月
本店所在地 : 長崎県平戸市生月町御崎768番地の2
代 表 者 : 増山 時光 代表取締役社長
資 本 金 : 5百万円
事 業 内 容 : 一般貨物自動車運送業、沿海旅客海運業

3. 今後のスケジュール

長崎地方裁判所、監督委員及び債権者の了解を得ながら、速やかな最終合意書締結に向け協議を進めていく所存です。

4. 参考

株式会社ドーガン・アドバイザーズの概要

設 立 : 平成16年8月
本店所在地 : 福岡市中央区大名2-4-22
代 表 者 : 森 大介 代表取締役社長
資 本 金 : 25百万円
事 業 内 容 : 企業の合併、業務提携及び営業譲渡等に関する助言、経営コンサルティング

株式会社ドーガン・インベストメンツの概要

設 立 : 平成17年9月
本店所在地 : 福岡市中央区大名2-4-22
代 表 者 : 森 大介 代表取締役社長
資 本 金 : 10百万円
事 業 内 容 : 投資事業組合の運営及び管理

・この件に関するお問い合わせ

(株)ドーガン・インベストメンツ <http://www.dogan.jp/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目4-22

TEL : 092-739-2311 (担当 : 新村、斉藤)

FAX : 092-739-2317

以上